

スマート農業総合推進対策事業

【令和3年度予算概算要求額 5,500（1,500）百万円】

<対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、**先端技術の現場への導入・実証**や、**地域での戦略づくり**、科学的データに基づく**土づくり**、**教育の推進**、**農業データ連携基盤（WAGRI）の活用促進**等の環境整備の取組を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践〔令和7年まで〕

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. スマート農業加速化実証プロジェクト

スマート農機の広域的なシェアリング等の新サービスの活用やスマート商流との連携等のテーマに応じた**先端技術の現場実証**や**情報発信**を行います。あわせて、新しいスマート農業機械の開発を行います。

2. スマート農業普及のための環境整備

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
農業データの連携・共有やWAGRI活用促進のための環境整備を支援します。
- ② 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
ロボット農機の現場導入に向けた、**安全性確保のルールづくり**等を支援します。
- ③ 次世代につなぐ営農体系確立支援
新たな営農体系の戦略づくり、**データ駆動型農業の実践・展開**を支援します。
- ④ データ駆動型土づくり推進
科学的データに基づく土づくり推進のための、**土壌診断データベース**を構築します。
- ⑤ スマート農業教育推進
農業大学校等の授業で活用できる**教育コンテンツ提供**等を実施します。
- ⑥ スマートグリーンハウス海外展開推進
日本企業等の海外でのスマート施設園芸技術を導入した**現地生産**を支援します。
- ⑦ 遠隔営農指導体制構築支援
IoTを活用した遠隔指導など**新たな技術指導体制の構築**を支援します。

技術開発・実証

実装・普及に向けた環境整備

スマート農業加速化実証プロジェクト



安全安心な農業用
ドローン

開発



AIを活用した
野菜自動収穫機



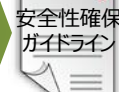
ドローンセンシング
による生育予測



家畜生体センシング
による精密飼養管理

先端技術の現場実証・経営分析

ロボット技術の安全性確保



リスクアセスメントの実施 ガイドライン等へ反映
スマート農業教育の推進



科学的データに基づく
土づくりの推進



農業データの活用促進



農機
データ連携に向けた
環境整備
WAGRI
営農管理ソフト

産地の戦略・体制づくり



遠隔営農指導体制の構築

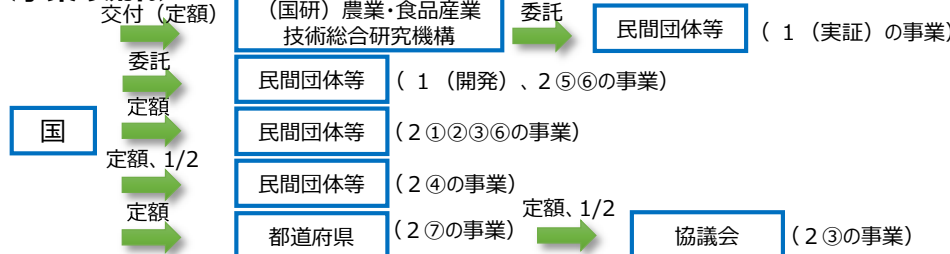


**スマートグリーンハウス
海外展開推進**



スマート農業の社会実装・実践

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-7462）